(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先)川崎市長

郵便番号 210-0006

住 所 川崎市川崎区砂子1-10-2

氏 名 川崎市交通局

印

交通事業管理者 局長 田巻 耕一 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

文 は 名 称 Text		Ma) 1 12 >	الدي	/皿 P及 I	ניס	水の正に	, , ,	איני היי האניוא) I 75.	の飛んにより、人のこの・	力提出しより。	
スは事業所の所在地	又				名称	川崎市交通	局					
規則第4条第2号該当事業者	主 <i>t</i> 又は	た る 事業	, 斯 <i>0</i>	¥ 務 D 所 在	所 E地	川崎市川崎	区砂子	1 - 1 0 - 2				
該当する事業者						□ 規則第	4 条第	1 号該当事業者	Í			
の 要 作 □ 規則第4条第4号該当事業者 □ 規則第4条第4号該当事業者 □ 上記以外の事業者(任意提出事業者) 主 た る 事 業 中分類 43 道路旅客運送業 主 た る 事 業 旅客自動車運送事業 「原油換算エネルギー使用量 k1 □ 原油換算エネルギー使用量 k1 □ 原油換算エネルギー使用量 k1 □ 原油換算エネルギーを開量 c1 □ 原油換算エネルギーを開動車の二酸化炭素 c1 □ 以外の温室効果ガスの排出の量 c1 □ 財 部 署 2 自動車部安全指導課 □ 所 在 地川崎市川崎区砂子1-10-2 ■ 電話番号 044-200-3208 □ FAX番号 044-200-3946 □ メールアドレス 82anzen@city.kawasaki.jp □ 事業者番号 特記事						□ 規則第	4 条第	2 号該当事業者	Ĭ			
世	_	₫ す		事業	者 件	☑ 規則第	4 条第	3 号該当事業者	Ĭ			
主 た る 事業の た る 事業 極 中分類 43 道路旅客運送業 主 た る 事業 旅客自動車運送事業 原油換算エネルギー使用量						□ 規則第	4 条第	4 号該当事業者	Ĭ			
主 た る 事 業						□ 上記以	外の事	業者(任意提出	岀事業:	者)		
の 業 種 中分類 43 道路旅客運送業 主 た る 事 業 旅客自動車運送事業 版名自動車運送事業 原油換算エネルギー使用量 k1 回 原油換算エネルギー使用量 k1 ロ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量 t - CO2 担当部署 名自動車部安全指導課 所在 地川崎市川崎区砂子1 - 1 0 - 2 <td rowspan="2" td="" いかっと="" おより="" これでは="" また。="" また。<=""><td> </td><td><i>t-</i></td><td>る</td><td>事</td><td>業</td><td>大分類</td><td>Н</td><td>運輸業,郵便</td><td>業</td><td></td><td></td></td>	<td> </td> <td><i>t-</i></td> <td>る</td> <td>事</td> <td>業</td> <td>大分類</td> <td>Н</td> <td>運輸業,郵便</td> <td>業</td> <td></td> <td></td>	 	<i>t-</i>	る	事	業	大分類	Н	運輸業,郵便	業		
の 内 容 N(音音到手達を事業		の	,	業	-	種	中分類	43	道路旅客運送	業		
事業者の規模 □ 自動車の台数 341 台 □ エネルギー起源の二酸化炭素 t - CO ₂ 担当部署 担当部署 名 自動車部安全指導課 所 在 地 川崎市川崎区砂子1 - 10 - 2 電話番号 0 4 4 - 2 0 0 - 3 2 0 8 FAX番号 0 4 4 - 2 0 0 - 3 9 4 6 メールアドレス 82anzen@city.kawasaki.jp	主の	た		事	松 牃	旅客自動車	運送事業	業				
連絡 担当部署 担当部署 日期車部安全指導課 担当部署 担当部署 日期車部安全指導課 所在 地川崎市川崎区砂子1-10-2 電話番号 044-200-3208 FAX番号 044-200-3946 メールアドレス 82anzen@city.kawasaki.jp 受付機 特記事						□ 原油換	算エネル	レギー使用量			k 1	
連 担当部署 担当部署 担当部署 名 自動車部安全指導課 所 在 地川崎市川崎区砂子1-10-2 東京 044-200-3208 FAX番号 044-200-3946 メールアドレス 82anzen@city.kawasaki.jp 受付機 特記書 受付機 中のよりによりによった。 受付機 中のよりによった。 受付機 中のよりによった。 単独型 中のよりによった。 ではよった。 中のよりによった。 受付機 中のよりによった。 ではよった。 中のよりによった。 をおよった。 <td rowsp<="" td=""><td>事業</td><td>業 者</td><td>ť σ.</td><td>規</td><td>模</td><td>☑ 自動車</td><td>の台数</td><td></td><td></td><td>341</td><td>台</td></td>	<td>事業</td> <td>業 者</td> <td>ť σ.</td> <td>規</td> <td>模</td> <td>☑ 自動車</td> <td>の台数</td> <td></td> <td></td> <td>341</td> <td>台</td>	事業	業 者	ť σ.	規	模	☑ 自動車	の台数			341	台
連 絡 先 担当部署 所 在 地 川崎市川崎区砂子1-10-2 FAX番号 044-200-3208 FAX番号 044-200-3946 メールアドレス 82anzen@city.kawasaki.jp 受付機 特記事											t - CO ₂	
連 絡 先 所 在 地 川崎市川崎区砂子1-10-2 電話番号 044-200-3208 FAX番号 044-200-3946 メールアドレス 82anzen@city.kawasaki.jp 受付機 計記事						扣业如果	担当	部署名	自動車	 車部安全指導課		
FAX番号 044-200-3946 メールアドレス 82anzen@city.kawasaki.jp 受付機 付機						担ヨ部者	所	在地	川崎ī	市川崎区砂子1-10-2	2	
メールアドレス 82anzen@city.kawasaki.jp 事業者番号 特記事	連		絡		先		電話番	号	0 4	4 - 2 0 0 - 3 2 0 8		
受付機							F A X 看	号	0 4	4 - 2 0 0 - 3 9 4 6		
受 付 記 事						メ-	ールアト	ドレス	82anz	zen@city.kawasaki.jp		
受 付 記 事		1						= ** *> #		I		
付									5			
	受						特					
							記					
	欄											

(第2面)

計画期間及び報告年度	22年度 ~ 24年度	(報告年度22年度分)
温室効果ガスの排出の量の 削減目標の達成状況及び温 室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり	
温室効果ガスの排出の量の 削減目標を達成するための 措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり	
他の者の温室効果ガスの排 出の抑制等に寄与する措置 の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり	
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり	
備考		

- 備考
 - 2
- 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。 のある欄は、該当する 内にレ印を記載してください。 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。 印の欄は記入しないでください。 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

- 2 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況(第3号該当者等)
- (1) 温室効果ガスの排出の量の状況(排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	/		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排	出	量	(実) 12,976 (調) 12,976 t-CO ₂	t-CO ₂	(実) t-CO ₂ (調)	(実) t-CO ₂ (調)	(実) 12,591 (調) 12,591 t-CO ₂
削	減	率		%	(実) % (調)	(実) % (調)	(実) 3.0 % (調) 3.0

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原 単 活 • i	位 の 動 量			単位		
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
	出 量 位等の					
削	減 率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	計画では、バスの営業運行距離は平成21年度から変更しないことを見込んでいたが、 平成22年度は路線拡充等を行い、前年度比107%となった。(H21:11,811,178km H22:12,615,968km) エネルギー使用に係る原単位では、対前年比98.8%(H21: 0.000417 H22:0.000406)に抑制したが、全てはまかないきれなかった。
第2年度	
第3年度	

(2)	担安効里ガス	の排出の量の状況	(今計日煙)
(一 年 3 1 未 八 人	ひょうちょうしょりょう ひょうへん カガモ	(+ 1 H 1 = 1

- 3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況
- (1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

	T	
事業所等	計画	
(第 1 号、	第1年度	
第2号、第4号該当者等	第2年度	
当者等)	第3年度	
	計画	推進体制の整備 車両の定期的なメンテナンスの実施 エネルギー使用量の把握・分析 エコドライブの実践及びエコドライブ研修の実施 ・外部の省エネ運転及びエコドライブ研修に職員を派遣 低燃費車の導入
自動車等 (第	第1年度	推進体制の整備:交通局カーボン・チャレンジ推進会議を設置 車両の定期的なメンテナンスの実施 エネルギー使用量の把握・分析 エコドライブの実践及びエコドライブ研修の実施 低燃費車の導入 最新の排出ガス規制適合車及び重量車燃費基準達成車42台を導入 CO2の削減効果が高いハイブリッドバスを6台導入(上記の内数)
第3号該当者等)	第2年度	
	第3年度	

1	ルの老の温安効用ギュ	の排出の抑制等に寄与する措置	の中体出
4	川の有の流名が未りる	の俳重の抑制寺に奇与9 る宿食	UJ 夫 / 加 イ

計画	なし
第1年度	なし
第2年度	
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計画	グリーン購入の推進を行う。 カーボンチャレンジエコ戦略(CCかわさき)への積極的な取り組みを行う。 エコオフィス計画の推進を図る。
第1年度	グリーン購入の推進を行った。 定期的に交通局カーボン・チャレンジ推進会議を開催し、カーボンチャレンジ エコ戦略(CCかわさき)への積極的な取り組みを行った。 エコオフィス計画の推進を図った。
第2年度	
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績(排出係数反映)

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)		t - CO ₂
(調)		1-002

イ 第3号該当者等

(実)	13,523	+ 00
(調)	13,523	t -CO ₂

(2) 事業所等単位(第1号、第2号該当者等)

ア 年間の原油換算Iネルド-使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t - CO ₂
				t - CO ₂
				t - CO ₂
				t - CO ₂

イ 年間の原油換算Iネルド-使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t - CO ₂
				t - CO ₂
				t - CO ₂
				t - CO ₂

ウ 年間の原油換算Iネルドー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500kl 未満	
300~400kI 未満	
200~300kl 未満	
100~200kI 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等単位(第4号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量(二酸化炭素換算)が 3,000 t 以上(二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。)の事業所の一覧

		,		
事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t -CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t - CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量(二酸化炭素換算)が 3,000 t 未満(二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。)の事業所の数

# 3K CC #P	
事業所数	

7 自動車の使用状況一覧(第3号該当者等)

(1) 車両の種別

		基準年度		第1年	度	第2年度	第3年度	
		台数		台数		台数	台数	
総数		339	台	341	台	台	台	
	普通貨物自動車	0	台	0	台	幻	台	
内	小型貨物自動車	8	台	8	台	红	台	
	大型バス	329	台	331	台	幻	台	
訳	マイクロバス	0	口	0	引	口	台	
	乗用自動車	2	台	2	台	台	台	
	特種自動車	0	台	0	台	幻	台	

(2) 燃料の種別

	がボヤーマンイ重力が	基準年	度	第2年度	第3年度	最新年	度		
		台数		台数		台数	台数	比率	
	総数		台	341	台		台	100.0	%
	電気自動車	0	台	0	台		台	-	%
	天然ガス自動車	17	台	16	台		台	4.7	%
	メタノール自動車	0	台	0	台		台	-	%
	ハイブリッド自動車	10	台	14	台		台	4.1	%
	プラグインハイブリッド 自動車	0	台	0	台		台	-	%
内訳	燃料電池自動車	0	台	0	台		台	-	%
	水素自動車	0	台	0	台		台	-	%
	ガソリン自動車 (ハイブリッド除く)	10	台	10	巾		台	2.9	%
	ディーゼル自動車 (ハイブリッド除く)	302	台	301	台		台	88.3	%
	LPGガス自動車	0	台	0	台		台	-	%
	その他	0	台	0	台		台	-	%
	うち低燃費車の台数	117	台	145	台		台	42.5	%

低燃費車とは、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づき定められた燃費基準 (トップランナー基準)を早期達成している自動車をいう。